

# EKK GROUP CSR REPORT 2018

EKKグループ CSR報告書 2018 WEB版



## 企業行動憲章

イーグル工業株式会社およびそのグループ会社は、次の経営理念のもと、単に公正な競争を通じた付加価値創出により経済社会の発展を担うだけでなく、すべての利害関係者、いわゆるステークホルダーに誇りをもって、ともに夢を追い続けることのできる経営を以下の経営方針で推進し、広く社会にとって有用な存在であることをめざします。その実現のために、以下の10原則に基づき、国の内外において、人権を尊重し、関係法令・国際ルールおよびその精神を順守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしてまいります。

### ▶ 経営理念

1. 愛情と信頼に基づく人間尊重経営
2. 派閥の無い強固な団結による風通しのよい経営
3. 超常識の努力を惜しまない逆境に強い経営
4. 常に夢を求める計画経営

### ▶ 経営方針

1. 経営資源を重点分野に集中させ、より強く、より独自性に富んだ部品メーカーになること
2. 営業第一線から製造現場まで、コスト削減を徹底し、収益体質をより強固なものとする
3. 品質向上のための研究を重ね、技術に裏打ちされた独自性のある、かつ社会に有用な商品を世界中で生産・販売すること

### ▶ 企業行動原則

#### 1. 社会的に有用な商品の提供

私たちは、社会に有用で安全な商品を開発・提供し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得します。

#### 2. 公正・適正な取引

私たちは、商品の販売、材料等の購入においては、公正で透明かつ自由な競争ならびに適正な取引を行います。また、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。

#### 3. 適正な情報の開示と管理

私たちは、正確な企業情報を、適時・適切に開示します。また、個人情報・顧客情報ははじめとする各種情報ならびに知的財産権の保護・管理を徹底します。

#### 4. 反社会的勢力との関係遮断

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした姿勢で対処し、関係遮断を徹底します。

#### 5. 環境保全の取り組み

私たちは、環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件として、主体的に行動します。

#### 6. 社会貢献活動の実践

私たちは、「良き企業市民」として、積極的に地域社会活動等を実践します。

#### 7. 国際社会との調和

私たちは、国際的に事業活動を行う企業として、事業展開する国・地域の法律の順守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習、ステークホルダーの関心に配慮した経営を行い、各国・地域の経済社会発展に貢献します。

#### 8. 人権の尊重と安全で働きやすい職場環境の確保

私たちは、社員の多様性・人格・個性を互いに尊重し、公私のけじめをつけ、公正な職場秩序の維持を図り、清潔かつ安全な職場環境を実現します。

#### 9. 役員の責任

役員は、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、EKKグループ全体に周知徹底するとともに、取引先にも同様の取り組みを働きかけます。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

#### 10. 問題発生時の対応

本憲章に反するような事態が発生したときには、役員は自ら問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上で自らを含めて厳正な処分を行います。

## CONTENTS

### 2 企業行動憲章/経営理念/ 経営方針/企業行動原則

### 4 トップメッセージ

### 6 会社概要

### 8 暮らしと社会を 支えるEKKグループ

### 10 働きやすい職場づくりに向けた 取り組み

特集

### 12 環境マネジメント

環境報告

### 14 環境保全活動

環境報告

### 18 品質への取り組み

社会性報告

### 19 従業員とともに

社会性報告

### 20 安全衛生・ 健康増進への取り組み

社会性報告

### 21 従業員の取り組み

社会性報告

### 22 海外での取り組み

社会性報告

### 24 お客様・お取引先様/株主・投資家/ 地域/国際社会とともに




社会性報告

### 26 CSRマネジメント

経営体制

### ▶ 編集方針

本報告書は、EKKグループが果たすべきCSR(企業の社会的責任)に関する考え方や活動をステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えし、ご理解いただくためのものです。多くの方々の情報ニーズにお応えできるよう、毎年、冊子版とWEB版を発行しています。

 <p>●WEB版 本報告書。 冊子版の内容に、各報告の 詳細な情報を加えた冊子形 式PDF</p>	 <p>●冊子版 ステークホルダーの皆様 に関心が高いと思われるCSR 情報に絞って掲載したダイ ジェスト版</p>	 <p>●CSRサイト 「環境方針」「リスク管理 メント方針」「EKK従業員 コンプライアンス行動指針」「 労働安全衛生方針」「グリー ン調達ガイドライン」等、冊 子版、WEB版を補完する各 種情報を掲載</p>
---	---	---

～報告対象期間～ 2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日)の実績が中心ですが、2018年度の取り組みを一部含んでいます。

～報告対象組織～ イーグル工業株式会社、イーグルブルグマンジャパン株式会社、岡山イーグル株式会社、島根イーグル株式会社、広島イーグル株式会社、イーグルサービス株式会社、イーグルハイキャスト株式会社、北海道イーグル株式会社、株式会社バルコム

～報告書発行日～ 2018年7月31日

～参考にしたガイドライン～ 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」、GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3.1版」

～CSR報告書に関するお問い合わせ～ イーグル工業株式会社 業務本部 総務部 総務課

TEL 03-3432-3892 FAX 03-3432-5448 〒105-8587 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル  
URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

# 全てのステークホルダーが 誇りを持てる会社であり続け、 「より良い社会」の実現に貢献していきます。

イーグル工業株式会社  
代表取締役会長兼社長

鶴 鉄二



## 良き企業市民として 社会と共生し さらに信頼される企業へ

当社は、メカニカルシールの生産や各種サービスの提供を通じて、日本をはじめ世界各国に子会社・関連会社を100社以上有するグローバル&パブリックカンパニーに成長してまいりました。

私たちは、各種産業における軸封（シール）装置に関するソリューションプロバイダーとして、全てのステークホルダーにとってなくてはならない存在価値を持つ中堅優良企業、グローバル・インテグラル・カンパニーを目指しています。

そして「企業は、株主、従業員及び社会の共有物である」という考え方を経営の端々にまで展開しています。

各種法令に対するコンプライアンス、安全、環境、品質は、事業を継続していく上の最優先事項です。

安全衛生面では、「自部署で絶対に労働災害を起こさない」という決意のもと、労働災害のない会社を一日も早く全員で実現し、心身ともに健康で、明るく働きやすい、生産性の上がる職場を作っていきたいと考えています。

環境保全への貢献では、「ムダ半活動」（『ムダの排除～すべてを半分に～』）を通して、時間、生産スペース、水、ガス、電気の使用量、不適合品、人・物の移動距離、CO<sub>2</sub> 排出量などの環境負荷削減に取り組んでいます。

また、技術に裏打ちされた独自性のある、かつ社会にとって有用な製品を世界中で安く作り、世界中で提供するという考えのもと、次世代エネルギー、次世代モビリティなどに対応した、環境に配慮した製品の開発、拡販に積極的に取り組んでいます。

品質面では、「永遠のゼロ」をスローガンに、苦情、不具合品ゼロに向けて取り組んでいます。

長期的利益の犠牲のもとに短期的利益は追求せず、いくら儲かるからといって、環境を破壊する恐れがあったり、品質の確保や供給責任を果たせない製品・サービスの提供は行ないません。経営者が変わろうとも、従業員

が移り変わってもいつまでも全てのステークホルダーから誇りを持てる会社であり続け、良い会社であり続けることで、より良い社会の実現のために貢献することができる、これが当社グループの願いであり、CSR に関する考え方です。

「CSR 報告書 2018」はステークホルダーの皆様に対し、EKK グループの環境保全・安全衛生活動への取り組み、品質の向上及び社会的な活動に対する考え方や実績を紹介させていただいております。

皆様の忌憚りの無いご意見・ご感想をいただければ幸いです。

## 中期経営計画 「持続性ある企業体質の構築」—Fly Sky High!

### ▶3カ年計画

2017年度から、2019年度を最終年度とする新3カ年計画がスタートしました。今年度は3カ年計画の中間年度にあたります。最終年度である2019年度は、売上高1,800億円、営業利益180億円を目指しており、さらにその後の目標である2020年度の売上高2,020億円、営業利益202億円に繋げるための非常に重要な1年間です。目標の達成はもとより、より強固な企業体質を構築し、いかなる時代の変化があろうとも永続的に成長を続けていくため、3カ年計画の基本方針を「持続性ある企業体質の構築」—Fly Sky

High!とし、「永遠のゼロ」「次世代商品開発」「徹底したTCD、ムダ半」「BCM」「EagleBurgmann三極全体最適経営」「ERP導入/活用」「人間尊重経営/健康・安全」の7項目を重点的に推進してまいります。

ここに掲げた主要推進項目は、どれも先送りできるものではありません。なぜなら、それらが長期的利益の犠牲のもとに短期的利益を追求しないという当社グループの命題に沿うものであり、「全てのステークホルダーに利益と誇りをもたらす (Profit and Pride for All Stakeholders)」と信じているからです。

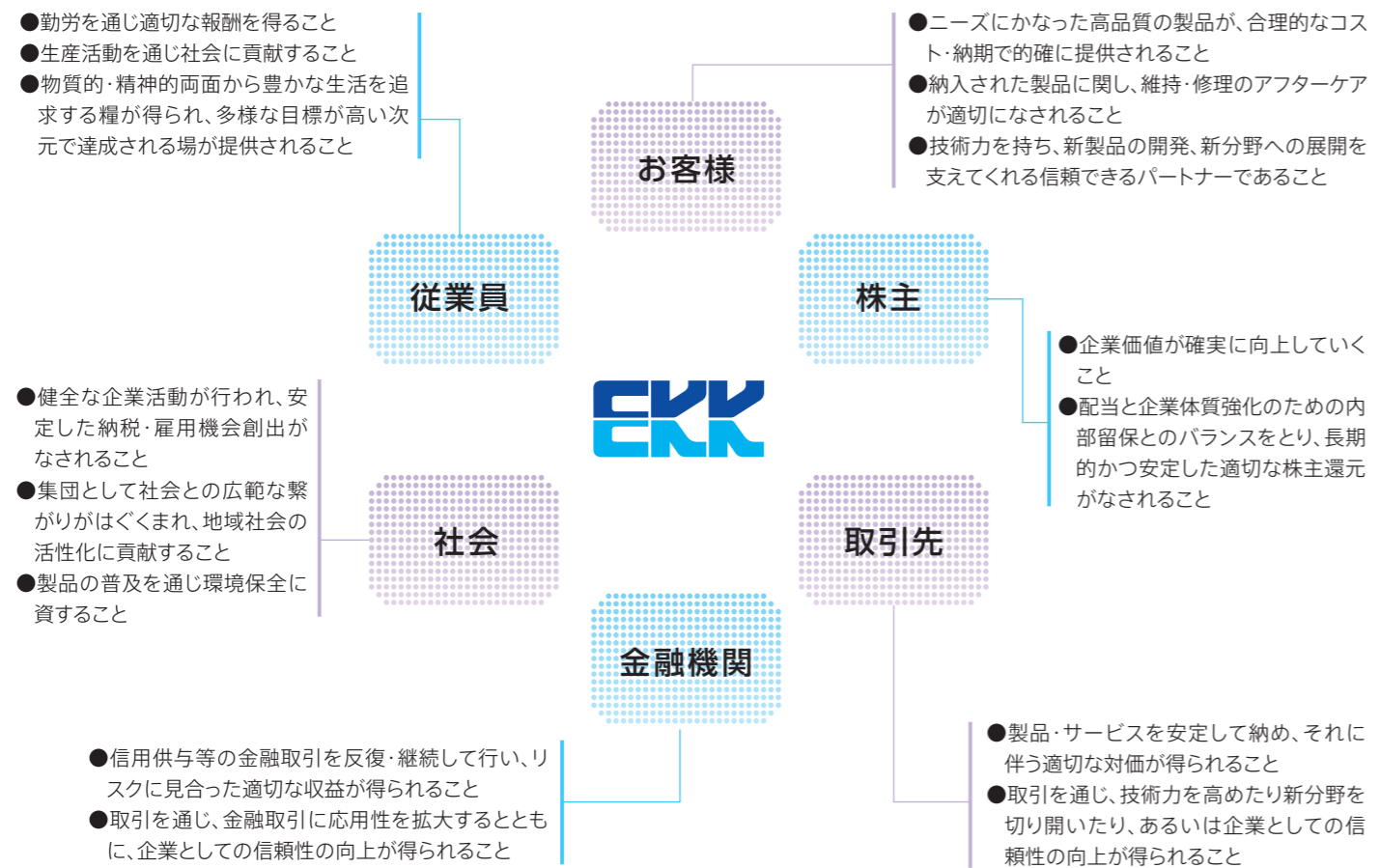
### 主要推進項目

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1.永遠のゼロ                 | 一個たりとも不具合品を流出させない品質管理体制の構築               |
| 2.次世代商品開発               | 「次世代モビリティ・エネルギー」市場向けに固有技術を活かした製品開発       |
| 3.徹底したTCD、ムダ半           | 「Total Cost Down」「ムダの排除～すべてを半分に～」による利益創出 |
| 4.BCM                   | 「Business Continuity Management」の構築      |
| 5.EagleBurgmann三極全体最適経営 | 日本・インド・アジアパシフィック地域の全体最適に向けた経営推進          |
| 6.ERP導入/活用              | グローバル経営情報伝達・収集の基幹システムとしてのSAP導入完了         |
| 7.人間尊重経営/健康・安全          | 真に働き甲斐のある職場の実現、社員の健康・安全の推進               |

# 会社概要

商号	イーグル工業株式会社 EAGLE INDUSTRY CO., LTD.	<b>連結売上高</b> (百万円) 
本社所在地	〒105-8587 東京都港区芝公園2丁目4番1号 芝パークビル	
代表者	代表取締役会長兼社長 鶴 鉄二	<b>連結営業利益</b> (百万円) 
設立	1964年10月1日	
資本金	10,490,981,500円	
決算期	3月31日	
従業員数	連結 6,400名	

## ステークホルダーとのかかわり



## 日本と世界に広がるEKKグループ

### 国内

- | 販売拠点   | 事業場・主要拠点  | グループ会社   |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台支店</li> <li>● 北関東支店</li> <li>● 水戸支店</li> <li>● 東京支店</li> <li>● 名古屋支店</li> <li>● 大阪支店</li> <li>● 神戸支店</li> <li>● 広島支店</li> <li>● 九州支店</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 埼玉事業場 航空宇宙事業部 技術本部</li> <li>● 岡山事業場 AI・CI事業部</li> <li>● 高砂事業場 船用事業部</li> <li>● 呉工場 船用事業部</li> <li>● 新潟事業場 船用事業部</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● イーグルブルグマンジャパン株式会社</li> <li>● 北海道イーグル株式会社</li> <li>● 株式会社バルコム</li> <li>● 岡山イーグル株式会社</li> <li>● 島根イーグル株式会社</li> <li>● 広島イーグル株式会社</li> <li>● イーグルサービス株式会社</li> <li>● イーグルハイキャスト株式会社</li> </ul> |



### 海外(グループ会社)

- | 生産及び販売拠点 (29社)   | 販売拠点 (42社)  | その他 (15社)  |
|--|---|--|
| 自動車・建設機械業界向け事業<br>■Eagle Industry Taiwan Corporation (台湾)<br>■NEK Co., Ltd. (韓国)<br>■EKK Eagle (Thailand) Co., Ltd. (タイ)<br>■Eagle Industry (Wuxi) Co., Ltd. (中国)<br>■Eagle Simrax B.V. (オランダ)<br>■Eagle Industry France S.A.S. (フランス)<br>■EKK Eagle Industry Mexico S. A. de C. V. (メキシコ)<br>■Eagle Industry Hungary Kft. (ハンガリー)<br>その他3社<br>一般産業機械業界向け事業<br>■EagleBurgmann India Pvt. Ltd. (インド)<br>■EagleBurgmann Australasia Pty. Ltd. (オーストラリア)<br>■P.T. EagleBurgmann Indonesia (インドネシア)<br>■EagleBurgmann Germany GmbH & Co. KG (ドイツ)<br>その他13社<br>船用業界向け事業<br>■Eagle Materials Korea Co., Ltd. (韓国) | 自動車・建設機械業界向け事業<br>■EKK Sales Europe B.V. (オランダ)<br>■Eagle Industry Sales (Shanghai) Co., Ltd. (中国)<br>■EKK Eagle Sales America Inc. (米国)<br>■Eagle Actuator Components GmbH & Co. KG (ドイツ)<br>一般産業機械業界向け事業<br>■EagleBurgmann France S.A.S. (フランス)<br>■EagleBurgmann Italia s.r.l. (イタリア)<br>その他29社<br>船用業界向け事業<br>■KEMEL EUROPE LIMITED (英国)<br>■KEMEL USA Inc. (米国)<br>■KEMEL Asia Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)<br>その他1社<br>航空宇宙業界向け事業<br>■Eagle Engineering Aerospace Singapore Pte. Ltd. (シンガポール)<br>その他2社 | 自動車・建設機械業界向け事業<br>■EKK, Inc. (米国)<br>その他4社<br>一般産業機械業界向け事業<br>■EBI Asia Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)<br>■EBI Atlantic A/S (デンマーク)<br>■EBI Asia Pte. Ltd. (シンガポール)<br>■EBI Middle East A/S (デンマーク)<br>その他6社 |



# くらしと社会を支える EKKグループ

EKKグループは、シール技術、特殊溶接技術、動力伝達技術、バルブ技術を大きな柱に、各種メカニカルシール、特殊バルブ、船舶用製品、航空宇宙用製品、ベローズ関連製品、ダイヤフラムカップリング等をお届けしています。

これらの製品は自動車、船舶、各種プラント、航空機やロケット等になくてはならない存在として広く利用され、世界中の人々のくらしや産業分野で貢献しています。

## 1 石油化学、鉄鋼、医薬、水、紙、食品

石油化学等の重要装置である大型コンプレッサーに使われるドライガスシール、工業用大型ポンプやプロセスポンプ・家庭用ポンプなどに使われるメカニカルシール、多くの産業界で使われている攪拌機用のシールユニット等をはじめとした、多様な製品群を揃えています。



API682  
メタルベローズシール



ドライガスシール

## 2 半導体製造

半導体製造装置やフラットディスプレイ製造装置の真空シールに使われる磁性流体シール、溶接金属ベローズ、シリコンウェハーを研磨する化学研磨装置等に用いられるロータリージョイント等があります。



溶接金属ベローズ



磁性流体シール

## 3 自動車、建設機械

カーエアコンやウォーターポンプのシール、各種装置用のソレノイドバルブ、排ガス対策用リードバルブ、建設機械の足回り用フローティングシール等、多彩な製品を安定的にお届けしています。



自動車用バルブ製品



シール製品

## 4 住宅設備

家庭用の温水洗浄便座、家庭用燃料電池、ヒートポンプ式給湯機などに使われる各種バルブ、井戸水ポンプやビル・マンション向け給水システムに使われるアキュムレータ等を提供し、皆様の快適な生活をサポートしています。



温水洗浄便座用バルブ



住宅設備用アキュムレータ



## 5 航空宇宙

ロケットエンジンのターボポンプや航空機エンジンのメインシャフト・ギアボックス等に用いられる各種シール等を供給しています。国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に採用されているベローズアキュムレータもEKKグループ製品です。



ベローズアキュムレータ



航空機エンジン用シール

## 6 エネルギー

各種発電プラントのポンプや発電機用のシールの他、高温・高圧の条件で使用できる各種シールを提供しています。さらに、特殊バルブは多くの発電所に、またダイヤフラムカップリングは主に発電装置やLNG船の推進軸にそれぞれ採用されています。



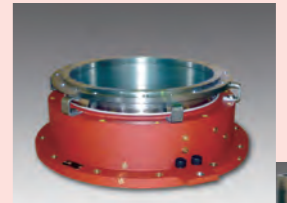
ダイヤフラムカップリング



主蒸気隔離弁

## 7 船舶

プロペラシャフトに装着される潤滑油の漏洩や海水の侵入を防ぐ船尾管シール装置、船尾管軸受等を提供しています。空気を利用して油漏れを完全に抑えた無公害の船尾管エアシールも多くの船舶に採用されています。



油潤滑用船尾管シール



水潤滑用ゴム軸受

## 8 その他

圧力センサ、ロードセル、デジタルコントローラなどを多様な業界（自動車・ゴム・半導体・水処理・産業機械・電池関連・食品・飲料水・医薬品等）の設備装置に採用され、品質・生産性向上、省エネに貢献しています。



圧力センサ



丸型デジタル表示器

## Special Topic

特集 「人間尊重経営の実践」

# 働きやすい職場づくりに向けた取り組み

## 働き方改革

EKKグループは、働き方改革への取り組みとして、時間外労働の削減と業務のムダをなくし、その空いた時間を有効に使う活動(ムダ半活動)を行っています。

時間外労働の削減では、事業所毎に毎週のノー残業デーを決め、終業時刻には事業所内で退社のアナウンスを流し、早く帰ることを促しています。また、平日においては原則として夜9時までに退社するルールを定めています。これにより2017年度は、前年に比べ、1人当たり4%の時間外労働を削減することができました。

また、ムダ半活動では、全従業員がその活動に参加し、2017年度は52,752時間の業務時間削減を達成しました。これらの活動は現在も続けています。

## 安全の誓いの日

EKKグループでは、毎年3月22日を「安全の誓いの日」と定め、全国の事業所で安全活動を実施し労働災害の防止、交通事故防止活動に努めています。

### イーグル工業(株) 船用事業部 安全強化期間 (2018年3月9日~22日)

#### ▶安全昼礼(イーグル工業(株) 呉工場)

2018年3月9日、製造部長が安全訓話を行ないました。



連続無災害日数 729日 安全訓話の様子 (2年間)

#### ▶EKKグループ安全の誓いの日 (イーグル工業(株) 高砂事業場)

2018年3月22日、安全ワイガヤ報告会を開催し、安全強化期間中に各部署で行った安全ワイガヤの結果を報告しました。報告会には全ライン管理職が出席し、10チームが報告しました。「ワイガヤ」とは、あるテーマを取り上げ、そのテーマについて従業員がざっくばらんに意見を出し合う活動です。従業員の意見を吸い上げる貴重な場になっています。



発表風景

表彰式

事業部長による総評

記念撮影(特別賞:イーグル工業(株) 呉製造課/イーグルハイキャスト(株) 製造2課)

安全強化期間の啓蒙のため、「垂れ幕」を各拠点で掲示



EKKグループでは、グループ経営理念のひとつ「愛情と信頼に基づく人間尊重経営」を実践するため、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

全てのステークホルダーが誇りを持てる会社であり続けるために、従業員がいきいきと働くことのできる明るい職場が欠かせないと考えています。

## 交通安全の取り組み

EKKグループでは、人間尊重経営の理念に基づき、業務上の運転はもとより従業員の私用運転時の交通安全について、安全啓蒙を強力に実施しています。これは、従業員が他人様を怪我させてしまったり、自分や家族が怪我をしてしまったりすることは、何よりも不幸であることであり、これを未然に防止することが大切であることから進めている取り組みです。

また、交通事故を起こしてしまったときや交通違反をしてしまったときは、所属長へ「交通事故違反報告書」を提出して、再発防止に努めています。

交通安全の取り組みの一つとして、全国の事業所で数多くの交通安全教育を実施しています。

また、自動車通勤者の多い事業所では、交通安全当番が駐車場出入口で一声運動を行っています。

### イーグル工業(株) 埼玉事業場 交通安全の取り組み

#### ▶西入間警察署による講話



西入間地区の事故実績などについて聴講しました。また、交通死亡事象事例をビデオで聴講し、運転時の確認行動の大切さを学びました。(2017年4月24日)

#### ▶西入間警察署による講話



わき見運転の危険性、夜間の運転の注意点、交差点での注意点などについて聴講しました。(2017年8月3日)

#### ▶損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)による講話



高速道路や交差点の走行に関する注意点について聴講しました。(2017年12月22日)

**My CSR**  
EKK Eagle Industry Mexico  
S. A. de C. V. 環境管理係  
Paula Cecilia Martínez Guerrero

当社では、がんと闘病している子供たちを援助する慈善団体へ寄付活動をしています。私は慈善団体との窓口を担当しており、毎月不要になった飲料用ペットボトルのふたを集め、慈善団体へ送っています。送ったふたはリサイクルされ、買い取ってもらった売却益が寄付金となり、子供たちが化学療法を受けられる仕組みになっています。昨年は従業員の協力のもと382,109個のキャップを集め、闘病生活を送る子供たちへクリスマスにももちゃを贈ることができました。

**My CSR**  
NEK Co., Ltd. 製造部  
生産技術課 主任  
金賢守(キム ヒヨンス)

当社の電気担当として社内で使う部品を選定する際には、LED灯等の高効率機器を選定して省エネを実践しています。このような省エネ活動で温室ガス発生を減らし、人の安全と環境を考えて業務に臨んでいます。

環境報告 環境マネジメント

EKKグループは、地球環境保護に貢献するため、グループ共通の環境方針を制定し、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用しています。

環境方針

▶ 基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、企業が社会の一員であること、及び私達が生産するシール・機器製品等は公害防止・省エネルギー等の環境保護に寄与する製品であることを踏まえ、事業の活動、製品及びサービスが地球規模での環境影響に深く関わりを持つことを自覚し、コンプライアンス（順法の精神）を活動の原点とし、自主的・継続的に地球環境の保全に取り組めます。

▶ 行動指針

1. 製品の開発にあたっては、環境影響に配慮します。
2. ライフサイクルの視点を考慮し、省資源・省エネルギー・温室効果ガス削減に努めます。
3. 廃棄物の低減と、持続可能な資源の利用のため再資源化に努めます。
4. 生物多様性を考慮した環境影響の継続的改善及び汚染の予防に努めます。
5. 法規制及び同意するその他の要求事項を順守します。（その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の環境指針」等をいいます。）
6. マネジメントレビューを通して環境目的・目標を設定し、適切な頻度で見直し、環境パフォーマンスの継続的向上を図ります。

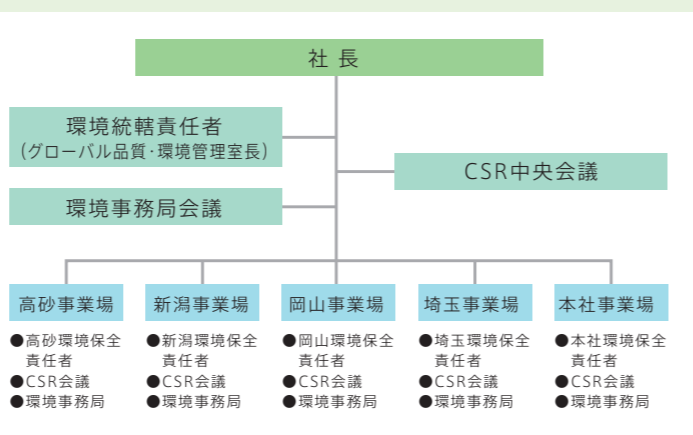
2017年4月1日改訂

環境マネジメント体制

EKKグループは、全社規模の環境マネジメント体制を整えています。体制の中心となるのは、社長を議長とし各事業場の環境保全責任者で構成される「CSR中央会議」です。ここで決定された目的・目標のさまざまな取り組みが環境統轄責任者によって各事業場に展開されます。

また、各事業場の環境保全責任者を議長とする「事業場CSR会議」が置かれ、ここで確認された各事業場の取り組みは「CSR中央会議」で報告され、経営層によるマネジメントレビューが実施されます。

環境マネジメント体制



**My CSR**  
イーグル工業(株)  
KEMEL神戸支店 営業課  
井上礼子

エアコン温度設定調整、節電、ゴミの削減、MYカップ & 食器持参など日常的なことをはじめ、書類のサーバー保管や裏紙使用、印刷物の軽減など日頃から支店の中で個々が可能な限り環境保全を意識するように心掛けています。

ISO14001取得状況

2017年度より、EKKグループの国内拠点ではISO14001:2015に対応した環境マネジメントシステムを運用しています。2018年度のISO14001審査では審査対象に(株)バルコムとイーグルハイキャスト(株)を加えて、国内におけるEKKグループ全体でISO14001:2015の認証を取得します。

企業	取得状況
イーグル工業(株)	維持
イーグルブルグマンジャパン(株)	維持
イーグル・エンジニアリング・エアロスペース(株)	維持
岡山イーグル(株)	維持
鳥根イーグル(株)	維持
広島イーグル(株)	維持
北海道イーグル(株)	維持
イーグルサービス(株) 本社及び岡山事務所	維持

※2018年7月31日時点



ISO14001 審査の様子 (株)バルコム



ISO14001 審査の様子 イーグルハイキャスト(株)

環境法規制の順守状況

毎年、EKKグループに適用される環境法規制を特定し、半期ごとにその順守状況を確認しています。2017年度、EKKグループに適用した全ての環境法規制を順守しました。

EKKグループに適用される主な環境法規制	2017年度の順守状況
エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネルギー法)	順守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	順守
大気汚染防止法	順守
水質汚濁防止法	順守
土壌汚染対策法	順守
騒音規制法	順守
振動規制法	順守

**My CSR**  
EKK Eagle Products India  
Pvt. Ltd. 総務部  
Akshay Basatwar

当社は、経済、福祉、そして環境面で社会に貢献する企業活動こそが持続可能な社会を創ると考えています。その考えのもと、環境問題に取り組むNGO「SWACH」へ寄付金を送っています。寄付金は恵まれない子どもたちへ衣類や靴などを寄付するために使われます。また、子供たちの教育と成長を支援する公共団体へも寄付金を送っています。

内部監査

環境マネジメントシステムが有効に運用されているかを確認するため、毎年、全ての部署を対象に内部監査を行っています。2018年度は拠点を相互した横断型の内部監査を行い、内部監査員のレベルアップにより、充実した環境保全活動に繋がります。

環境教育

EKKグループで働く従業員全員を対象に、環境の認識教育を行っています。環境の専門知識がなくても理解しやすいよう、オリジナルのテキストを作成し、ISO14001の概念、EKKグループの環境目的・目標等を解説しています。

緊急事態対応訓練

事故や災害が発生した際に、環境汚染を防止・緩和するため、緊急時の対応手順を定め、定期的に緊急事態対応訓練を行っています。訓練の結果を踏まえて、対応手順に問題がないかを見直して、緊急時に万全の対応ができるよう備えています。



岡山事業場 緊急事態対応訓練

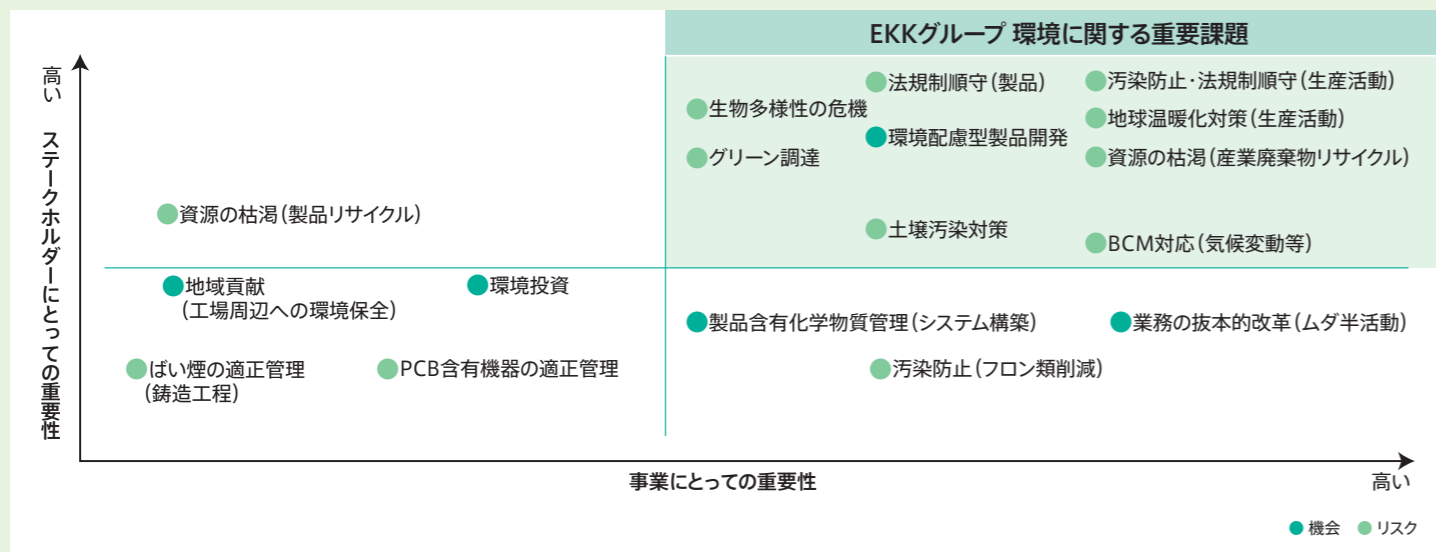
環境報告 環境保全活動

EKKグループでは、自らの事業活動、製品及びサービスが、地球規模での環境影響に深く関わりを持つことを自覚し、自主的・継続的に地球環境の保全に取り組んでいます。

環境に関する重要課題の分析

EKKグループでは、ステークホルダーの皆様の意見や期待の把握に努め、環境保全に関する課題をリスクと機会に分けて分析し、ステークホルダーと事業の双方にとって重要度の高い課題に取り組んでいます。

2018年度 重要課題の分析



重要課題に基づいた中長期的な環境保全活動の取り組み

EKKグループは、中長期的な観点で環境保全活動に取り組んでいきます。まず、エネルギー使用量、産業廃棄物、水資源の使用等、環境パフォーマンスの実態の見える化を進めます。そして、顕在化した課題に対して改善活動をより活性化させ、具体的な中長期目標値を設定し、環境パフォーマンスの向上に取り組んでいきます。

中長期的な環境保全活動の流れ



EU(欧州連合)の環境規制への対応

EUは、使用済自動車や、廃電気・電子機器が環境に与える負荷を低減するため、ELV指令(廃自動車指令)、RoHS指令(電気電子機器における特定有害物質使用制限)を制定しています。ELV指令では鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを、RoHS指令ではこれら4物質に加えて臭素系難燃剤2物質(PBB、PBDE)、フタル酸エステル類4物質(DEHP、BBP、DBP、DIBP)の使用を禁止しています。これらの物質を使用している一部のEKKグループ製品については、お客様に適切な情報を提供するとともに、お客様と連携して代替化を進めています。

フロン類の削減

EKKグループでは、精密部品の洗浄等にオゾン層破壊物質であるジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)を使用しています。一部製品を対象とした代替化や、HCFC-225回収装置のメンテナンス頻度を上げることで、大気放出量の削減に取り組んできました。その結果、2017年度のHCFC-225排出量は、統計を開始した2003年度対比で65.9%の削減となりました。2020年度までの全廃に向け、専門メーカーと連携してHCFC-225の代替化を検討しています。

化学物質の管理

EKKグループでは、PRTR制度に従い、PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)で定める化学物質の排出量・移動量を国へ届け出しています。

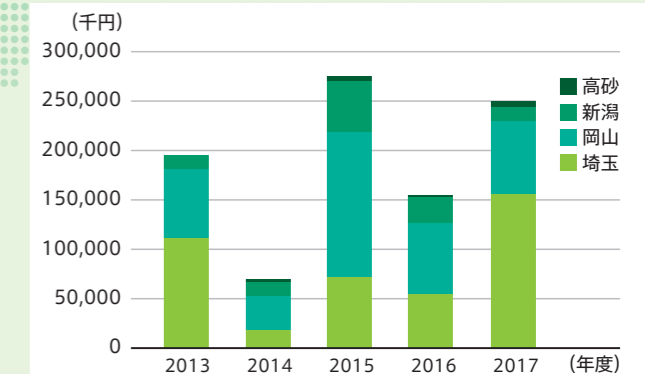
PRTR法 第一種指定化学物質の排出・移動量

政令番号	第一種指定化学物質の名称	排出量(kg)				移動量(kg)	
		大気	公共用水域	事業所土壌	事業所埋立	下水道	事業所外
185	ジクロロペンタフルオロプロパン	2,300	0	0	0	0	340
258	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	1,000
300	トルエン	6,500	0	0	0	0	1,000
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0
349	フェノール	0	0	0	0	0	680
合計		8,800	0	0	0	0	3,020

2017年度の主な環境投資内容

● 埼玉事業場: 157,626千円	土壌汚染対策工事(バイオ方式) PCB蛍光灯安定器廃棄処分
● 岡山事業場: 79,690千円	生産設備のロボシリンダ化(電動化) エアコン更新
● 新潟事業場: 12,124千円	冷温水発生機更新 汚水槽清掃工事
● 高砂事業場: 440千円	遮熱ガラスフィルム貼付 ブラインド設置
● 全社: 249,880千円	

環境投資実績





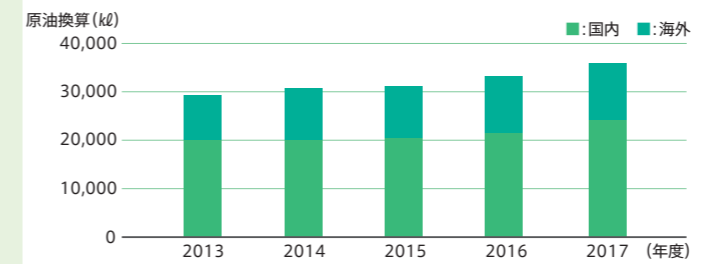
EKKグループでは、継続して環境保全活動に取り組むため、3カ年の中期的な環境目標を策定しています。2017年度より、CO<sub>2</sub>排出量削減、産業廃棄物削減及び生物多様性保全への取り組みという3本柱で環境負荷の低減に取り組んでいます。

事業活動から発生する環境負荷を継続的に低減するために、2017年度は環境負荷データの集計方法を見直しました。2018年度には国内拠点、2019年度には海外拠点でエネルギー使用量や産業廃棄物の現状を詳細に把握し、改善点を明確にします。2020年度にはEKKグループの各拠点で各々の改善に取り組むことができることを目指しています。

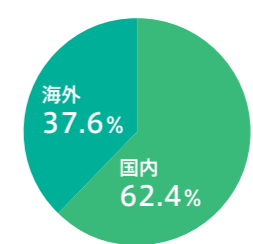
2017年度の活動実績は下表のとおりです。

環境目的	2017年度 目標	2017年度 実績	評価	2018~2020年度環境目標
環境配慮型製品の開発推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進した。	○	環境配慮型製品の開発推進
CO <sub>2</sub> 排出量削減への取り組み	エネルギー使用量削減 1. 使用エネルギーの見える化 2. CO <sub>2</sub> 排出量算出方法のルール化 3. 中期計画目標値の決定 4. 原油換算原単位を前年度対比1%削減	■使用エネルギーの見える化に向けてCO <sub>2</sub> 排出量算出方法及び中期計画の目標値を決定した。 ■各拠点の改善内容を検討し、集計システムの集計項目を検討した。 ■原油換算原単位を前年度対比2.7%削減した。	○	1. 改善に繋がる使用エネルギーの見える化 2. CO <sub>2</sub> 排出量を生産金額原単位で1%以上削減 3. 集計システムの導入、国内及び海外拠点への展開
産業廃棄物削減への取り組み	リサイクル品目の拡大 産業廃棄物量の削減	■資源循環の見える化に向けて各拠点の改善内容を検討し、集計システムの集計項目を検討した。 ■中期計画目標値を決定した。 ■リサイクル率99.3%で目標を達成した。新規処理業者の開拓、取引開始によりリサイクル品目を拡大した。	○	1. 改善に繋がる資源循環の見える化 2. リサイクル率98%の維持継続 3. 産業廃棄物量の削減 4. 集計システムの導入、国内及び海外拠点への展開
生物多様性保全への取り組み	水資源保護への取り組み 適切な植栽管理	■水使用量を監視項目とすることを決定した。 ■特定外来生物のうち植物16種を管理することを決定した。 ■工場立地法と各拠点所在地域の条例が定める緑地面積率を順守するため、引き続き緑地面積率を監視することを決定した。	○	1. 水使用量の監視 2. 削減計画の策定及び計画に基づく管理 1. 適切な植栽管理(ルールの決定~運用) 2. 工場の緑地面積の管理
法規制及びその他要事項の順守	1. 順守率100% 2. 環境法規制違反をはじめとした重大問題の未然防止	■順守率100%を達成した。 ■環境法規制違反をはじめとした重大問題発生しなかった。	○	1. 順守率100% 2. 環境法規制違反をはじめとした重大問題の未然防止

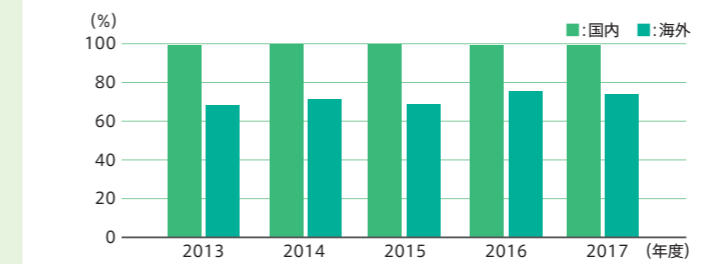
エネルギー使用量の推移



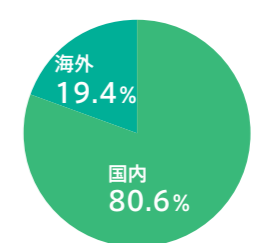
エネルギー使用量の国内・海外比 (2017年度)



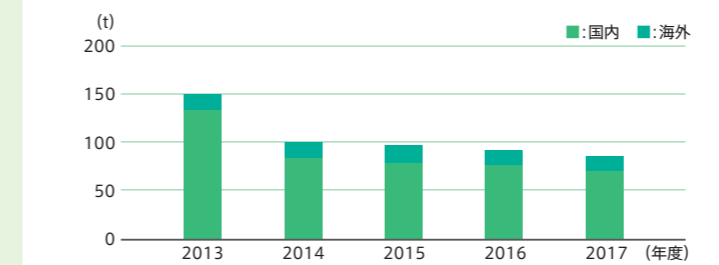
リサイクル率の推移



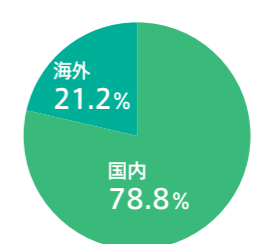
産業廃棄物排出量の国内・海外比 (2017年度)



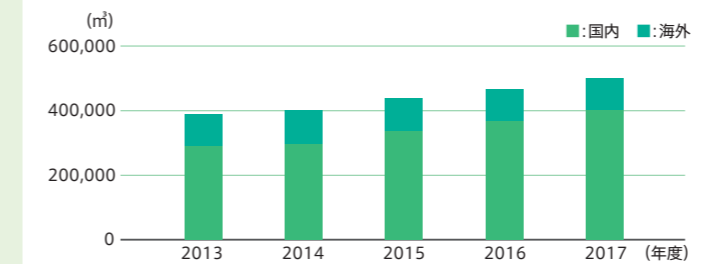
VOC排出量の推移



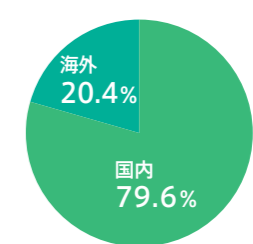
VOC排出量の国内・海外比 (2017年度)



水使用量の推移



水使用量の国内・海外比 (2017年度)



環境データの集計対象 (拠点数)

エネルギー使用量、VOC排出量、水使用量

拠点		2013	2014	2015	2016	2017
国内	本社屋	1	1	1	1	1
	生産拠点	11	11	11	11	11
	営業部門	15	16	16	20	19
海外	生産拠点	8	9	9	9	9

リサイクル率、産業廃棄物排出量

拠点		2013	2014	2015	2016	2017
国内	生産拠点	10	10	10	10	10
	営業部門	10	10	10	10	10
海外	生産拠点	8	9	9	9	9

社会性報告 品質への取り組み

お客様の視点に立って世の中に信頼される品質を提供し続けていくことは、EKKグループの使命であると位置付けています。そのため、「永遠のゼロ」という強固な信念のもと、グループ一丸となって品質のあくなき改善・向上に取り組んでいます。

「永遠のゼロ」への取り組み

社長示達「永遠のゼロ」活動の2年目となる2018年度は、従来の手法や工程・設備の延長だけでは苦情ゼロの達成は困難である事を認識し、品質に対するアプローチの抜本的な改革として、革新的な取り組みを行い、一個たりとも市場に不具合品を流出させない品質管理体制の構築を目指します。

品質管理体制

EKKグループが考える、品質管理体制に対する革新的な取り組みは、例えば、開発設計段階における各種ツールの導入や活用、工程・設備設計や生産現場でIoTやAIなどの新技術を取り入れた生産改革や、自動化などの人に頼らない工程の構築などです。また、品質情報管理システムを導入し、データベースを構築して情報の共有化を進め、世界同一品質に向けて取り組みます。

EKKグループが取り組むべき品質エリア



先行・予防的な品質管理を行うため源流品質から市場品質までの管理体制を構築します。国内における管理体制をグローバルに展開することによって、「世界同一品質化」を実現していきます。

品質表彰

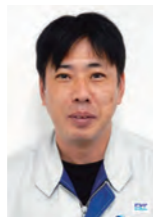
2017年度の品質表彰は、表彰対象の枠を広げ、係やプロジェクト単位でも推薦できるようにした結果、優秀な品質改善活動を行っても表に出なかったチームやグループなどを発掘できました。最優秀賞に選ばれた、岡山イーグル(株)の「原価低減ミニプロジェクト」チームは、部門横断プロジェクトで不適合低減活動を行い、苦情の発生件数がゼロであることはもちろん、不適合品率の低減、廃却金額の削減額や低減額が大きく、2016年度の品質実績と比較して優秀な成績を収めていることが評価されました。



岡山イーグル(株) 製造一部メカバル課 原価低減ミニプロジェクトメンバー

Interview

品目が多くて部品点数も多く、工程も長い為、不適合要因を探るのに苦戦しました。プロジェクトと言う形をとり、他部門との多機能協業で、原理原則に立ち返り、皆で目標に向かって協力しあえた事は大きな意味があると考えています。この良い状態を持続していくことが大切で、今後も不適合を発生させないよう活動をより活性化し、会社全体の不適合金額を減らす努力をしていきたいと思っています。



岡山イーグル(株) 製造一部 主査 森下隆司

品質向上活動

発生要因追究の為、ビデオカメラを工程に設置して監視。録画した画像をチェック。独自に開発した生産監視システムで設備の異常状況を確認しています。

原価低減ミニプロジェクトメンバーで作戦会議中。TCD、生産技術、設備管理などのメンバーで構成されています。



【品質表彰制度とは】部・課レベルでの品質改善活動に対する努力や実績を評価する制度。品質改善活動をより活性化させるため、2008年度にスタートしました。

**My CSR**  
イーグルブルグマンジャパン(株) 新潟事業場 業務部 環境安全課 志田 梨緒

当事業場は、EKKグループの中でも広い敷地を保有しており、豊かな自然に囲まれています。このため年に4回、工場全体で周辺の美化活動を行い自然保護に努めるとともに、細かな節電・節水を心掛けて資源保護にも努めています。

社会性報告 従業員とともに

EKKグループは、グループ経営理念のひとつ「愛情と信頼に基づく人間尊重経営」を実践するため、従業員ひとりひとりがその能力を出し切ることのできる、働き甲斐のある職場づくりに努めています。

人財育成への取り組み

グローバル化等企業を取り巻く環境が急激に変化する中、持続的な従業員の幸せ、企業として成長を果たす為に、教育体系・教育カリキュラムからなる人財育成プログラム(off-JT: Off The Job Training)を新たに用意し、社内教育をスタートしました。

人財育成プログラム

新人～マネジメント層に対し、大きく3つの教育区分(基礎・マネジメント・高度スキルアップ)からなる33課目(スタート時点)の各種研修を基本として、5年毎に受講します。経験豊かな社内講師が中心となって、可能な限り現地に出向き教育を行います。

また、社内ポータル上で運営を行っており、従業員は各自のパソコンから、研修開催予定・受講履歴等の閲覧・参加申し込み・レポート提出等を簡単に行うことが可能となっています。



ダイバーシティへの取り組み

EKKグループでは、人間尊重経営の実践を掲げ、全ての従業員がその能力を出し切ることのできる働き甲斐のある企業体を目指し、ダイバーシティ・マネジメントを行っており、そのひとつとして女性の更なる活躍を推進しています。

女性の活躍推進

具体的な取り組みとして、従業員の能力・意欲に応じた育成指導を通じての職域の拡大、総合職・管理職への積極登用を行っています。また、管理職として活躍する女性従業員への定期的なフォロー面談を通じ、職場環境の問題点の洗い出し、解消に向けた取り組みも行っています。さらには、育児・介護休業制度やフレックスタイム制度の充実により、従業員がより働きやすい職場づくりを推進してきており、女性従業員の更なる活躍により女性ならではの感性や視点が活かされ、組織の活性化や生産性の向上といった企業の価値創造の資源となっています。

**My CSR**  
Eagle Industry France S.A.S. 人事部 マネージャー Laura Mayer

当社は、人材紹介会社、職業訓練所と提携して、新設の機械加工工程に50名を採用しました。求職者を雇用し、当社の人材育成カリキュラムのもと教育をすると、役所から補助金があります。従業員は、新しい仕事を身に付けたり、キャリアアップの機会を得たりすることで、一生涯の仕事に出会うことができます。

# 安全衛生・健康増進への取り組み

朝、家族のために働きに出かけたが、大怪我をして帰って来たとしたら、従業員とその家族を幸せにするという最大の経営目標は決して達成できません。従業員のために安全で健康的な職場環境の整備に取り組んでいます。

## 労働安全衛生方針

会長の安全基本理念『安全は人間尊重経営の礎私の願い、私の使命』(私：従業員各々のことであり、全従業員が安全を確保し業務にあたるもの)の示達を受け、労働安全衛生方針を2018年5月1日付で改訂しました。

基本理念にある、「心身ともに健全で活力ある人材を育むと共に、無事故・無災害で快適な働き甲斐のある職場の実現」を目指すべく、2018年はより強固に労働安全衛生活動を進めていきます。



「安全衛生方針」については、イーグル工業(株)ホームページでご紹介しています。  
<https://www.ekkeagle.com/jp/csr/safe.html>

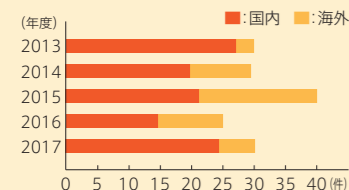
## 労働安全衛生の管理体制

各事業場では事業場長が総括安全衛生管理者となり、各部門長を通じてライン管理と安全衛生専任部署のスタッフ部門とが連携する「ラインスタッフ型」安全衛生管理組織を設け、かつOHSAS18001の考え方を導入し、安全衛生活動を推進しています。

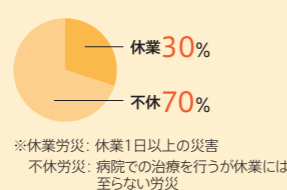
## 国内外労働災害発生防止対策

労働災害は不安全状態(設備安全装置欠如等)や不安全行動(ルールにより禁止されている人の行動)によって発生すると言われていたため、不安全状態の排除策として新規設備・機械の導入時点検を行っています。また不安全行動の抑止策として、不安全行動から生じる危険状態を体感できる機材一回転物への巻き込まれ、設備による挟まれ、クレーン等での荷振れによる挟まれ、電気災害の疑似体験などにより想定される危険を数多く体感できるようにし、ヒヤリハットや危険予知訓練と併せてリスクセンスを向上させ、リスクアセスメントへ有効に繋がっています。

### 労働災害発生件数の推移



### 労働災害の内訳(2017年度)



## 心と体の健康

従業員の心身の健康維持・増進を図るため、24時間電話健康相談サービス(無料)を実施しています。また、産業医、保健師、看護師、管理職が共同して従業員のメンタルヘルスケアに取り組む等、心身の健康管理を積極的にサポートしています。

### 電話健康相談の実績(2017年度)

相談内容	件数
健診・ドックに関する相談	8
健康保持・増進に関する相談	2
気になる体の症状についての相談	316
家庭看護	87
治療に関する相談	284
母子保健に関する相談	2
育児相談	92
夜間・休日の医療機関の案内	28
ストレス及びメンタルヘルスに関する相談	116
医療機関の相談	38
その他	67
合計	1,040

※上記件数は、NOK、EKKグループの合計

## 交通安全の取り組み

交通安全教育の一環として交通安全運動を実施しています。

残念ながら、交通事故・違反を起こしてしまった従業員には、その運転が業務上か私用かを問わず「事故報告書」または「違反届」を提出してもらい、自戒を促すとともに、同様事故・違反を抑止する事例として活用しています。

事業所地の県、警察と連携し、地域ごとの交通安全運動チャレンジ200やドライブコンテスト(1チーム数名にて一定期間無事故・無違反を目指すもの。地域により呼称が異なります)へ多数のチームで積極的に参画し、社内の無事故・無違反表彰と相まって、交通安全意識の高揚を心掛けています。

### 主な安全関係の設備投資・法定点検費用

#### 2017年度の主な投資内容(修繕含む/計71,000千円)

●埼玉事業場(9,000千円)	●B棟クレーン落下防止対策 ●消防設備法定点検・修繕	●室内空調・ダクト耐震補強
●岡山事業場(44,000千円)	●加硫成形機安全対策 ●切削加工工程職場環境改善(ミストコレクター)	●プラストマシン安全対策
●高砂事業場(5,000千円)	●ヒヤリハット対策 ●中間軸受用定盤改造	●集じん機一体化工事
●イーグルブルグマンジャパン(株)新潟事業場(13,000千円)	●LPG供給設備更新	●各種年次点検

# 従業員の取り組み

従業員ひとりひとりが、コンプライアンス、安全衛生、環境保全、品質の向上について意識を持って活動しています。

## 従業員とのかかわり

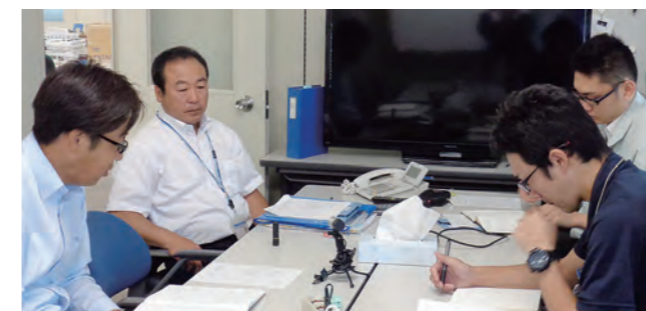
コンプライアンス、安全衛生、環境保全、品質の向上を実践するため、毎年度、計画的に、そして自主的に、改善に向けたさまざまな取り組みを行っています。部

署単位に留まらず、部署を横断した小集団でも取り組むことで、取り組みの成果を上げることはもちろん、従業員の意識を向上することにも繋がっています。

### ▶環境に配慮した安全運転への取り組み

(イーグル工業(株)東京支店千葉営業課)

当課は営業担当者4名が在席しています。お客様は千葉臨海工業地帯の石油化学、石油精製、鉄鋼等の各工場であり、お客様の訪問時には社有車の運転が欠かせません。そのため、毎月初めに環境配慮、安全運転を目的としたミーティングを実施し、走行距離、燃費を確認し、交通ルールやヒヤリハット体験の情報を共有しています。例えば、ミーティングでは「止まれ」ではタイヤが完全に停止しなければならないという交通法規の再確認や、効率的にお客様を訪問するルートの情報共有するなど、従業員の安全、車両の燃費の維持・向上を図っています。今後も環境に配慮した安全運転でお客様の環境保全に欠かせないEKK製品の拡販に努めます。



運転者によるミーティングの風景



千葉営業課の社有車

### ▶重量物対策による安全リスクの低減

(広島イーグル(株)製造二部 二課 二係)

当社の巻線工程ではポピンに線材を自動機にて巻いてコイルを製作しています。使用している線材は1缶27kgで、1日の使用量は32缶、つまり864kgと相当の重量です。作業員は線材を運搬用の台車に乗せ、生産ラインへ運搬し、生産ラインの置場へ降ろす一連の作業で腰痛を発生するリスクがありました。この重量物運搬作業を軽減するため、QCサークルで改善に取り組み、レイアウト変更等さまざまな改善策を試し、最終的に線材納品用のパレットを小さくすることで、パレットごと生産ラインへ運搬できるように改善しました。サークルメンバーの「絶対に改善する熱意」で、腰痛発生リスクをゼロにすることができ、この活動を通して、安全リスクの軽減と課員の安全に対する意識向上に繋がりました。



重量物対策前は、作業員が重い線材を生産ラインまで運搬していました。



対策に取り組んだQCサークルのメンバー。重量物対策後は、線材をパレットごと生産ラインへ納入できるようになりました。

社会性報告 海外での取り組み

EKKグループでは、海外の各拠点においてもCSR活動を推進しています。その取り組みの一部を紹介します。

EKK Eagle (Thailand) Co., Ltd. (タイ)

▶ 太陽光パネルによる省エネルギー

当社はタイのチョンブリ県にあり、バンコクから東に約80kmのところにあります。タイは熱帯に位置し、年間を通じて、気温が高く、太陽の光に恵まれています。このような環境を利用して、当社では2017年10月に工場の屋根全面に太陽光発電を設置しました。年間発電予想量は877MWhで、工場全体の約16%の電力を賄うことができます。この太陽光発電は会社のレセプションのモニターにも映し出され、企

業のイメージアップにも繋がっています。また、太陽光発電の発電量は毎月行われる安全環境会議で報告され、省エネルギーの結果を確認しています。この安全環境会議では安全への取り組みや排水に含まれる環境負荷物質の調査、その他の省資源、省エネルギーの活動も報告され、従業員や環境に優しい企業になることを目指しています。



工場の屋根に設置した太陽光パネル



レセプションのモニター



安全環境会議の様子



ソーラーパネルの導入に携わった生産技術部と安全環境課のメンバー

EagleBurgmann India Pvt. Ltd. (インド)

▶ セル生産方式の導入による生産性の向上

当社はインド国内におけるメカニカルシールとサプライシステムの大手メーカーです。非常に優れた技術をもち、40年以上に渡ってこれらの製品を幅広く供給する最先端のメーカーとして発展してきました。より多くのお客様のご要望に応えるため、従来の生産計画制御方式に代えてセル生産方式を導入しました。

当社ブネ工場には11個の生産セルがあります。生産の仕

組みが頻繁に変わる部品を少量に生産する生産工程には、生産する部品の種類、大きさ、そして複雑性に応じた装置を小部屋(セル)に配置し、「セルチーム」を専任しています。生産性の高い作業環境を作り出すことで、品質基準を満たした製品をより早くお客様へお届けしています。



セル生産方式の工程の様子



5Sの改善前



5Sの改善後



セル・コーディネーター Ravindra Mohite

Eagle Simrax B.V. (オランダ)

▶ リスクアセスメントによる職場環境の改善

当社はオランダのリンブルフ州ケルクラーデにあります。PTFE加工を行う部署とプレス加工を行う部署を新設するにあたり、昨年、労働安全衛生上のリスクアセスメント(危険性事前評価)と現場の評価による詳細な調査を行いました。この調査はオランダの法律で定められているものです。工場内の全ての職場を対象に、どのような危険要素があるかを洗い出し、それらを改善する目的で行います。調査が終

わると、当社の経営陣と、労使協議会と安全衛生コーディネーターから成る調査チームが協力して、職場に潜在する危険源を除去して職場環境を改善するための計画を立てます。

当社では従業員のことを非常に大切にしており、従業員が安全で衛生的な労働環境で働くことができるよう、この活動に取り組んでいます。



PTFE加工機



プレス加工機



リスクアセスメントチームのメンバー



人事アドバイザー兼安全衛生コーディネーター Landstra Floortje

Eagle Industry Hungary Kft. (ハンガリー)

▶ フードチャリティー ▶ バス旅行 ▶ 施設への寄付 ▶ 植樹活動

昨年、マグロードで開催されたイベント「市民の日」に当社の従業員が参加しました。このイベントは食べ物に困っている地元のご家庭を支援するチャリティーイベントで、当社の従業員はサーケイカーポスタ(ハンガリーの代表的な料理)を作りました。

「マグロード家族支援サービス」は、地元で長年暮らし、6歳から12歳の子供をもつご家族を対象にバス旅行を企画しています。その予算が足りなかったため、2017年8月に当社がサポートして旅行を企画しました。

障がいを持つかたが入所している施設を訪問しました。当社では、創造性を育む玩具、本、衣類や洗面用具を従業員から集めて施設へ寄付しました。皆様にとっても喜んでいただけたと思います。

毎年、秋に「安全の日」をもうけて、健康、安全、そして環境保護に関する活動を行っています。昨年は環境保護活動のひとつとして植樹活動を行い、当社敷地内の庭に12本の木を植えました。



## お客様・お取引先様とともに

EKKグループは、サプライチェーンを構成するお取引様との相互信頼に基づくパートナーシップを確立し、お客様視点に立った製品・サービスをお届けしていくことで、社会から求められ、信頼される品質づくりに努めています。

### お客様・お取引先様とのかかわり

#### ▶ 日立建機(株)より優良サプライヤーとして表彰(イーグル工業(株)水戸支店)

日立建機(株)では毎年、600社以上あるサプライヤーを評価し、表彰式を執り行っています。評価項目は、納期遵守率、原価低減の目標達成率、FTA・EPA協力率などで、これらは数値化され、総合点で上位となった会社が表彰されます。2016年度における優良サプライヤーとして、イーグル工業(株)は今回初めて表彰を受けました。

FTA・EPAとは貿易の自由化を通じて経済の活性化を図る協定で、該社がEKKグループ製品を海外へ輸出する際、輸出相手国が日本とのFTA・EPA締結国で関税引き下げ対象品の場合、イーグル工業(株)では所定の調査を行い、輸出にかかるコストを削減しています。今後も、お客様の製品が幅広く使用されるために貢献していきます。



2017年10月31日、つくば国際会議場で表彰式が執り行われました。  
(右) 日立建機(株)の本井執行役(当時)  
(左) イーグル工業(株)の山本執行役員

## 社会性報告 株主・投資家とともに

上場企業の責務として諸法令及び証券取引所規則に基づいた適時適切な情報開示を実施するとともに、株主・投資家の皆様との対話を行う環境を整備しています。

### 株主・投資家とのかかわり

#### ▶ 2017年度のIR活動・株主総会開催の概要

イーグル工業(株)のIR活動は、「ディスクロージャーポリシー」に基づいた情報開示の基準・方法等に従って実施しており、財務情報や事業の動向について理解を深めていただくため、決算説明会、個別ミーティングの開催を中心に、年2回の報告書の作成、ホームページにおけるIR情報の発信を行っています。また、定時株主総会の開催にあたっては、招集通知の発送前開示や英訳提供等コーポレートガバナンス・コードに基づいた対応にも取り組んでいます。

##### (1) 決算説明会・個別ミーティングの概要

活動内容	実施概要
決算説明会	機関投資家向け決算説明会を年2回(第2四半期、本決算)開催し、社長が説明を行いました。
個別ミーティング	財経本部長が担当し、年70回実施しました。

##### (2) 株主総会開催にあたっての取り組み

活動内容	実施概要
集中日を回避した株主総会の設定	2018年の定時株主総会は6/26(火)に開催しました。 【集中日は6/28(木)】
招集通知の発送前(早期)開示	5/28(月)に開示しました。【発送は6/6(水)】
招集通知の英文提供	招集通知(狭義)・株主総会参考書類を英訳し、自社ホームページ及びTDnetに開示しました。

## 地域とともに

EKKグループは、地域に信頼される企業市民であることを目指して、地域社会活動を継続的に実施しています。従業員がこれらの活動の主体となることで、地域社会とのコミュニケーションを一層深めています。

### 地域とのかかわり

#### ▶ 地域密着型の秋祭り(イーグルハイキャスト(株))

2017年11月11日、イーグルハイキャスト(株)では第3回秋祭りを開催し、地域住民、近隣の中学生・高校生、従業員とご家族など300人以上の方に来場いただきました。今回は飲食コーナーに加えて高校生による伝統芸能の「石見神楽」の上演、中学生による吹奏楽を行い、好評を博しました。ご家族には工場見学が人気で、大きな軸受やピカピカに光るライナーを見て、従業員である家族が携わっている仕事を興味深げにご覧になっていました。今後も地域密着型の催し物を企画してご家族や地域の方に当社への理解と合わせ楽しんでいただきたいと思います。



島根県立瀬摩高等学校神楽同好会による石見神楽



島根県江津市立江東中学校吹奏楽部による演奏

## 社会性報告 国際社会とともに

EKKグループではグローバルで活動する企業の社会的責任として、増加する難民、環境問題、さらに貧困解決の一助のため、各拠点で寄付・賛助活動を行っています。

### 国際社会とのかかわり

#### ▶ 国連UNHCR協会への2017年度の寄付状況

現在、世界各国における紛争や迫害等の様々な理由により、故郷を追われる立場となっている「難民・避難民」は、数千万人に上るとされており、各地域においての難民支援活動は、今後もその必要性、重要性が増していく見込みです。

イーグル工業(株)は、2013年度より国連UNHCR協会への寄付を通じた難民支援の協力を行っています。

2017年度は、ミャンマーのロヒンギャ難民危機及びシリア危機による緊急人道援助へも参画しました。今後も国連UNHCR協会との情報交換等も行いながら、将来にわたっての難民問題解決に向けての支援を継続していきます。



国連UNHCR協会事務局長 星野 守様(左)より、代表取締役社長 鶴(右)が感謝状を受領しました。(2018年2月)

※国連UNHCR協会は、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の活動を支える日本における公式支援窓口であり、日本国内での難民支援に関する広報・募金活動を行っている特定非営利活動法人です。

経営体制 CSRマネジメント

社会から信頼され、企業価値を継続的に向上していく企業であるために、公正で効率的な経営システムを構築し、誠実な運営に努めています。

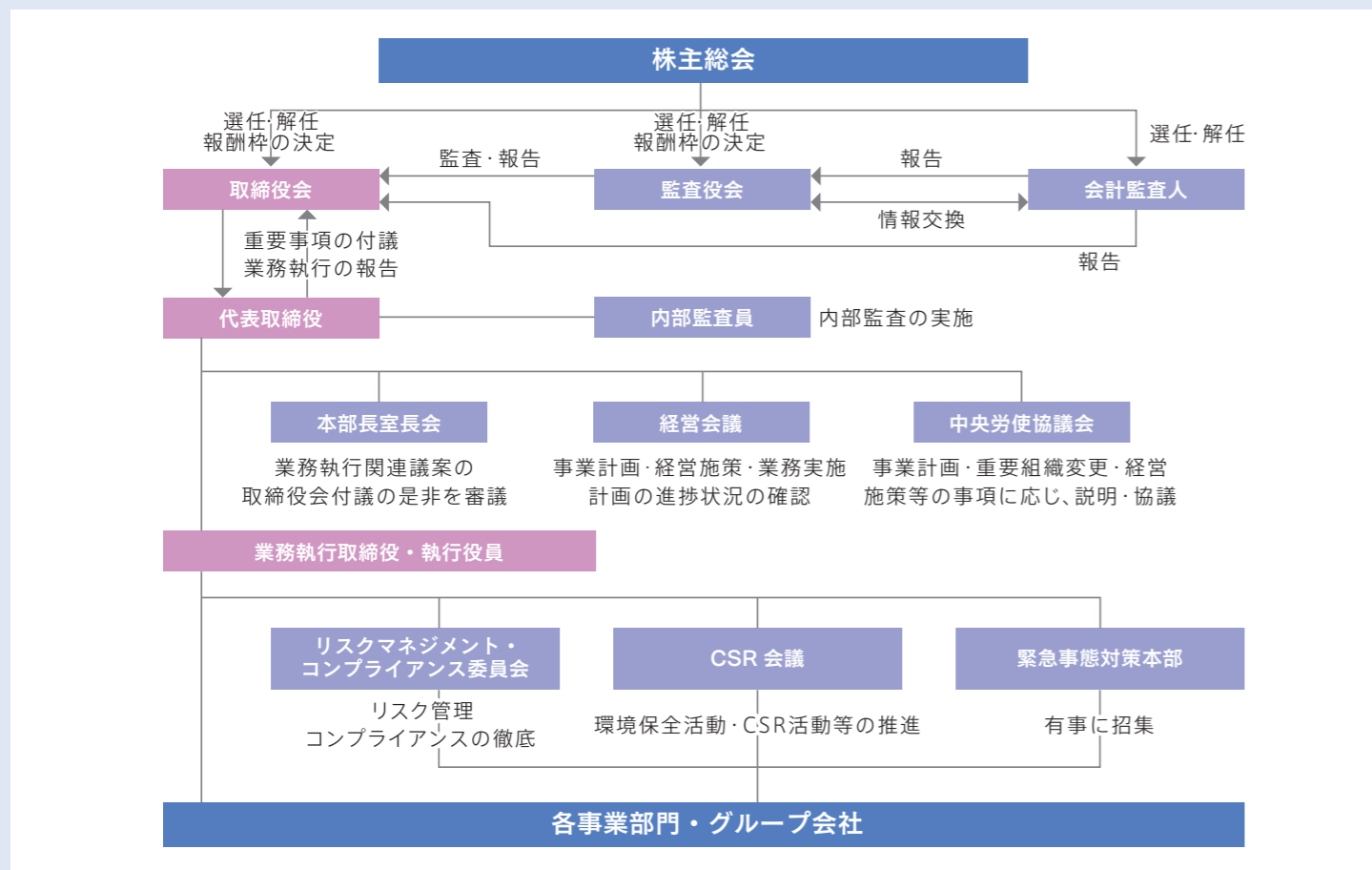
コーポレートガバナンス

EKKグループは経営の意思決定をただちに実行に移せるよう常に組織の見直しを行うとともに、大幅な権限委譲と責任の明確化を図り、最大の成果を達成しうる体制の整備に努めています。特に経営会議をはじめとする各種会議には、その重要性に応じ監査役、労働組合の参加を得ることで経営の透明性を保っています。さらに経営トップによる本部・事業部診断では経営層レベルにおける問題点の把握と共通認識が図れる

体制をとっています。

また、企業活動の多様化、グローバル化等に伴い企業としてのリスク管理の重要性が増していることから、リスクマネジメント・コンプライアンス委員会を設置し有事の備えとしています。加えて、全従業員を対象とした行動規範を策定し、モラルの向上を図っています。

コーポレートガバナンス体制



リスクマネジメント

事業活動に潜むリスクを認知し、その顕在化を防止するとともに、緊急事態発生時の対応を定めるため、EKKグループは2003年に「リスクマネジメント方針」及び「リスクマネジメント規程」を制定しました。

各室・本部・事業部及び各グループ会社は、「リスクマネジメント方針」に基づき、企業倫理、法令順守の徹底及びリスクマネジメントの推進に努めるとともに、これらの活動を通じてより高い企業倫理の醸成を図っています。

▶ リスクマネジメントの運用体制

～リスクマネジメント・コンプライアンス委員会～

事業活動に潜在するリスクを抽出・評価して、組織的認識のもと、予防策の推進を図ります。

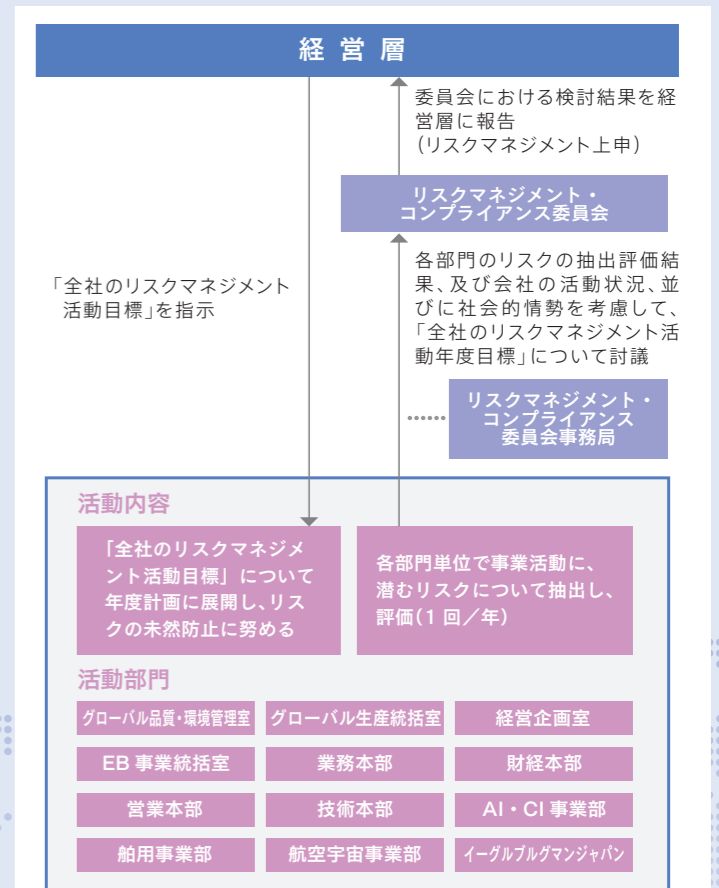
～緊急事態対策本部～

緊急事態が発生した場合、総力を挙げて緊急に状況の早期把握に努めるとともに、迅速・的確な状況判断のもとに、初動体制を確立し、被害の拡大防止を図ります。

～内部通報窓口～

従業員から寄せられる倫理疑義事項(法令、業界のルール、社会規範に照らした疑問事項等)に関する相談の解決と、適切な企業行動の維持を図ります。この通報窓口は、社外からの強制的な摘発、従業員等内部者による外部機関への告発、あるいは外部からの批判によってではなく、会社組織自らの力で、従業員の協力を得ながら、不公正な商慣習、違法行為、問題ある取引慣行等を事前に発見し、主体的に解決するための「自浄制度」です。

リスクマネジメント体制





## コンプライアンス

### ▶コンプライアンスの考え方

EKKグループは、「企業行動憲章」において、すべての利害関係者、すなわち、ステークホルダーに誇りをもって、共に夢を追いつけることのできる経営を推進し、広く社会にとって有用な存在となることを目指し、その実現のための企業行動原則10項目を定めています。この企業行動憲章を基本方針とした「コンプライアンス規程」を制定し、その内容を具体的に示すガイドラインとして、従業員が一般的に順守しなければならない事項を、「EKK従業員コンプライアンス行動指針」として以下の通り定めています。

また、従業員がコンプライアンス行動指針を日ごろから順守するよう、習慣づけの一環として毎年10月を「コンプライアンス強化月間」と指定し、従業員の意識向上に努めています。

### EKK従業員コンプライアンス行動指針

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 倫理の心              | 8. 環境保全             |
| 2. 人間尊重、差別・ハラスメントの禁止 | 9. 有用な製品の提供         |
| 3. 公正・適正な取引          | 10. 情報の適切な管理        |
| 4. インサイダー取引規制        | 11. 会社の利益を損う行為等の禁止  |
| 5. 輸出入手続(安全保障貿易管理)   | 12. 適正な会計           |
| 6. 知的財産権関連法          | 13. 正確な報告           |
| 7. 反社会的勢力との関係遮断      | 14. 法令順守、及び法令等違反の連絡 |

コンプライアンスとは「法令等の順守」と定義付け、不順守はリスクの1つと考えリスクマネジメントと同様の運用体制を取っており、特に大きなリスクとなるもの(独占禁止法の抵触、贈収賄等)については、毎年「リスクマネジメント目標」の1つとして定め、活動しています。

また、コンプライアンスについての意識向上・教育実施状況等について内部監査で確認するとともに、違反行為についての連絡先として案件ごとの管轄部門を定め、さらには「内部通報窓口」を設置し、社内受付部門(本社総務部)のほかに外部弁護士を加えており、電話、電子メールでの受付のできる体制を取っています。

### ▶コンプライアンス教育

コンプライアンスを理解し、日ごろから順守した行動をとれるよう、従業員への周知と意識を高めるための教育を国内外で継続的に実施しています。

#### ～国内～



「コンプライアンス入門」第2版

これまで「コンプライアンス入門」第2版を配布し、コンプライアンスの周知に努めました。今年度は、さらに教育内容を充実させ、コンプライアンス順守の意識が従業員全員に根付くよう、活動を進めていく次第です。

#### ～海外～

「コンプライアンス入門英訳版」は、日本語版を基礎としつつ、日本の法律・文化・習慣に由来するものは、見直しを図り、各国の文化等に合致したコンプライアンスの教材です。



「コンプライアンス入門」英訳版

### 「独占禁止法違反防止規程」、「贈収賄防止規程」を施行、それぞれのガイドラインを作成しました。

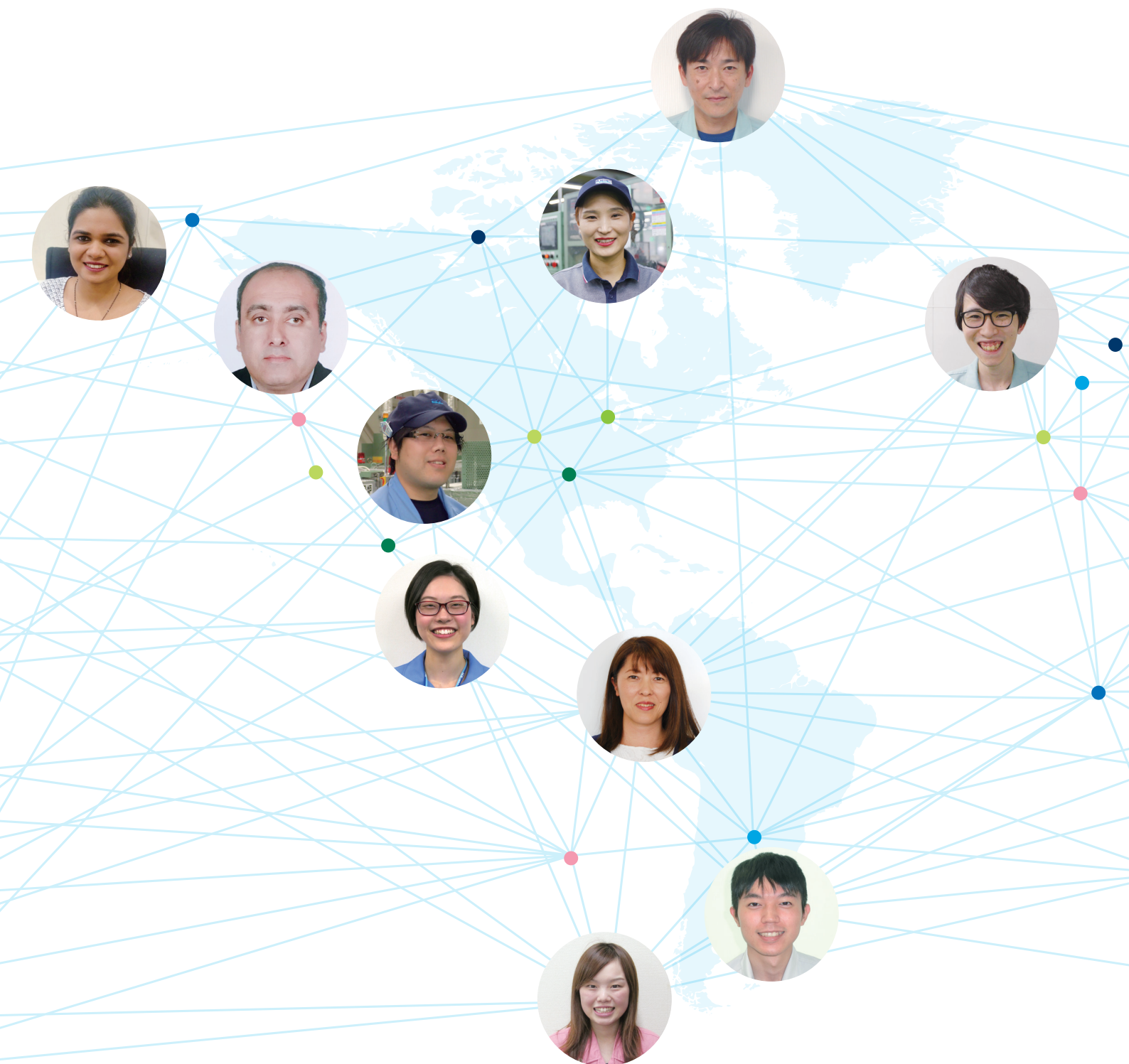
EKKグループは「企業行動憲章」や「従業員コンプライアンス行動指針」において、公正・適正な取引をすることを明示しています。しかし、経済情勢の高度化、違反に対する対応の厳格化・リスクの高まりに対応するために、2016年4月に「独占禁止法違反防止規程」、「贈収賄防止規程」を制定・施行するとともに、ガイドラインを作成しました。

国内で教育を行うとともに、海外の拠点で、規程・ガイドラインに沿って業務を行い、各国地域の事情を考慮しながらリスクを管理・対応するために、海外拠点に出向き教育を実施しました。



Eagle Simrax B.V.(オランダ)での教育風景





イーグル工業株式会社

〒105-8587 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル

<https://www.ekkeagle.com/jp/>